朝香伝統木版画教室作品展

2018~2023年 出展作品 (抜粋版) 川名和夫



2018年 第8回



2020年 第9回



2023年 第10回

第8回 出展作品



12

テニス

川名 和夫

初めて挑戦したハガキより大きいサイズの2点目。 市民テニス大会の会場で見みかけた素敵な女性 選手です。

川名和夫





教室で先生の指導の下"摺り"を行っているところ。 10万円もするバレンを使わせてもらっている。

第9回 出展作品



佐原の大祭夏祭り 美女三景 その2

川名 和夫
Kawana Kazuo

9版 11 度摺

2,30年前に買っていた桜(山桜ではない?)の版木を主版とぼかしに利用。数年前に千葉県の佐原(香取市)の夏祭りを見て、山車を引く若い美しい女性が気になり絵にして見ました。欲張って3作、いずれもぼかし摺りに挑戦しました。3作とも思っていた色が出ていないのが難です。

川名 和夫



教室にて、先生の指導の下、小刀(版木刀)の彫が終わり、丸刀で回りを彫っているところ。



教室での"摺り" 版木の"見当"と"引付"に 合わせて和紙を置きバレ ンで擦る。



第10回 出展作品



15

夏至祭

川名 和夫 中判 10版10度摺り

非壳品

北欧のスウェーデンでは夏至(ミッドサマー)は重要な年中行事。女性は花の冠を付け、メイポールという柱状のものを立てる伝統的な習慣があるようです。ホテルのフロントの女性も付けていました。